

2年間の集大成！「研究成果発表会」

2月14日、佐賀県教育センターにて、教職大学院2年生(M2)の「研究成果発表会」が行われました。「理論と実践の往還」を原理としたカリキュラムにより、探究実習を積み上げ、学修した成果の発表会に、県内教育委員会の方や連携協力校の校長先生方、現場の先生方、教育センター所員の方々にも多数参加いただきました。私たち1年生(M1)は、会場準備や分科会の運営、慰労会のお世話等を分担して行いました。当日の様子をお伝えします。

◎第1部 シンポジウム 「理論と実践の往還を問い直す -教職大学院3年間の歩みを考える」

- ①「教職大学院カリキュラムにおける理論と実践の往還についての考察 -正統的周辺参加の理論を足場として-」(佐長健司教授による講演)
- ②3つのコースにおける3年間の歩みの紹介
 - ・授業実践探究コース(岡陽子教授より)
 - ・子ども支援探究コース(下田芳幸准教授より)
 - ・教育経営探究コース(中島秀明教授より)



◎第2部 今年度修了予定者(現職教員院生10名、一般院生10名)2年間の研究成果の発表

<授業実践探究コース>理論についての説明と、それをもとに行った授業実践についての成果と課題について発表を行いました。M2の発表に対して関心を持ち、質問をするM1の様子も見られ、大変有意義な時間となりました。

<子ども支援探究コース>実践を中心とした成果報告が行われました。一般院生(ストマス)は授業と宿題の相互関連について、現職教員院生は子どものアセスメントから援助的なアプローチへのつなげ方についての発表でした。

<教育経営探究コース>現職6名が現任校の学校課題解決に取り組んだ研究成果を報告しました。参加者からは、学校の課題に対応したテーマに取り組んだ成果は、多くの学校の実践に役立つという感想が寄せられました。

発表ごとに交わされる質疑応答や助言を通して、私たちM1も多くのことを学びました。成果報告を聞きながら、これまでの歩みに敬意を表するとともに、来年度へ向けて身が引き締まる思いがしました。ご参加いただいた皆様、研究をご支援くださった皆様に、院生一同、感謝の気持ちでいっぱいです。



研究成果発表会終了後は、みんなで思い出に浸りながら、慰労会(立食パーティー)を行いました。M2からの教職大学院思い出トークや、M1のKプロデューサーによるスライド上映もあり、楽しい時間を過ごすことができました。先生方、M2の皆様、本当にお疲れ様でした！

